

開催報告

国際シンポジウム題名	京都大学ーヤンゴン大学国際シンポジウム 脊椎動物種多様性のアジア多国間研究ネットワーク	
開催日	平成 29 年 12 月 5 日（1 日間）	
主催部局	総合博物館	
協力部局名	理学研究科，農学研究科，人間・環境学研究科，霊長類研究所	
開催地	国名	ミャンマー
	開催地	ヤンゴン
	会場名	ヤンゴン大学
共催大学・機関名	ヤンゴン大学	
シンポジウム開催概要	<p>本シンポジウムは京都大学とヤンゴン大学が両大学の生物多様性や博物館科学の教育研究における協力体制を構築するとともに、アジア広域での多国間研究ネットワークの発展を目指して行われた。京都大学とヤンゴン大学をはじめとした日本とミャンマーの研究者および大学院生に加え、韓国、中国、台湾、ベトナム、ラオス、インド、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピンのアジア各国からの参加者を得た。京都大学が長い研究の伝統をもつとともに、現在さらなる研究発展の挑戦が続いているアジアの脊椎動物種多様性研究を中心に、関連する博物館科学や標本コレクションネットワークについて、活発な研究発表と議論を繰り広げた。京都大学からの 11 演題を含めて、計 10 カ国からの 21 演題の話題提供が行われた。シンポジウムを通じて、京都大学が掲げる WILD and WISE に基づく、日本とミャンマー、そしてアジア各国との国境と世代を超えた研究協力の推進が図られ、同時にアジアにおける研究において研究者の情熱が最も重要であることの認識を共有できた。本シンポジウムでは京都大学からの 6 名をはじめ各国からの多数の大学院生が積極的に参加し、次世代の研究を担う枠組み構築にも大きく貢献することができた。若手が大きく活躍し、躍動感にあふれたシンポジウムとなった。京都大学がアジア地域との協力体制を重点的に進めていること、そして若手への世代交代を強力に進めようとしている姿勢を、京都大学のプレゼンスとしてアジアに示すことができた。</p>	
参加者数(聴衆を含む)	150人	